

2022年2月15日発行

## 分科会代表より

平素より当分科会の活動にご協力を賜り御礼申し上げます。2021年も新型コロナウイルスの影響を受け、分科会活動が制限された1年でした。対面で実施できない不利益はあるものの、オンライン（またはハイブリッド）による学会活動にもだんだん慣れてきたかと思います。2022年の分科会活動は、オンラインとオンサイトの長所を活かしたスタイルに変化していくと期待しております。

2021年の本分科会の行事を振り返りたいと思います。第52回秋季大会の粒子・流体プロセス部会シンポジウムでは、「気泡・液滴・微粒子分散工学2021」を企画（オンライン）しました。本分科会からファインバブル学会連合に参画されている藤岡沙都子先生（慶應義塾大学）と安藤景太先生（慶應義塾大学）が中心となって気泡・液滴・微粒子分散工学2021においてファインバブルに関するショートセッションが企画されました。さらに、高木周先生（東京大学）と甲斐敬美先生（鹿児島大学）に展望講演をしていただきました。また、皆様のご協力のお陰であることは言うまでもありませんが、本シンポジウムは部会の中でも大きな規模で開催することができました。第22回気液固分散工学分科会サロンでは、森口周二先生（東北大学）に「固有直交分解の基礎と災害研究への応用」の題目でご講演いただき、第23回気液固分散工学分科会サロンでは、本分科会代表（2016-2017年度）およびMMPE2017・Vice-Chairを歴任された岩田修一先生（名古屋工業大学）に「レオロジーを応用した気泡除去」の題目でご講演いただきました。これらはオンラインという制約はありましたが、シンポジウム、サロンともに参加者がとても多かったため、会員の皆様に有益な情報をもたらせたと思っております。

2022年も会員の皆様にとって有益な情報を提供していきたいと考えておりますので、本分科会の行事への積極的なご参加をお願い申し上げます。

（代表 酒井幹夫）

## 2021年9月 分科会総会の概要

2021年9月22日に気泡・液滴・微粒子分散工学分科会

2021年度第1回総会がオンラインにて開催されました。総会は酒井代表の議事により進行されました。今回の総会において審議事項はありませんでした。報告事項として、酒井代表より2021年度第1回部会幹事会の報告がなされ、部会シンポジウム賞およびプレゼンテーション賞について重複受賞の是非に関する議論があることが報告されました。さらに、ファインバブル学会連合とのショートセッションの企画、混相流シンポジウム2021、MMPE2020の準備状況、に関する報告がそれぞれなされました。

（副代表 山田真澄）

## 第52回秋季大会シンポジウムについて

2021年9月22-24日にオンライン/岡山大学にて化学工学会第52回秋季大会が開催され、今回は、SY-53【粒子・流体プロセス部会シンポジウム】「気泡・液滴・微粒子分散工学2021」と題したシンポジウムを主催しました。23件の研究発表が行われ、うち2件は展望講演でした。活発な議論がなされ、意義のあるディスカッションができたものと思います。ご参加いただきました皆様に御礼申し上げます。また次回の秋季大会でも、分科会主催のシンポジウムを開催する予定ですので、ふるってご参加いただけますようお願い申し上げます。

<http://www3.scej.org/meeting/52f/index.html>

（副代表 山田真澄）

## 第24回気液固分散工学サロンのご案内

化学工学会第87年会の期間中（2022年3月16日）に、神戸大学・日出間り先生をお招きし、「粘弾性流体や柔らかい粒子のマクロレオロジー計測」の題目でご講演いただきます。光ピンセットや粒子追跡法を用いた粘弾性溶液のレオロジー特性のスケール依存性、ダブルエマルジョンの弾性率計測とその流動挙動など、日出間先生が最近取り組まれている課題についてご紹介いただけます。

【サロン・総会の申込みについて】

参加ご希望の方は、下記URL（Microsoft Forms）よりお申し込み下さい（締切：3月7日(月)）。

※複数人で聴講する場合であっても、各人が申請ください。

<https://forms.office.com/r/JZZBH0LENK>



日出間 るり 先生  
(企画幹事 石神 徹)

## MMPE2020について

新型コロナウイルス感染症が再度の広がりを見せ、未だに収束が見えない状況が続いていますが、The 4th International Symposium on Multiscale Multiphase Process Engineering (MMPE)については、2022年9月25日～9月28日に開催することでドイツ側が中心となって準備をしています。若手研究者のMMPEへ参加のための旅費補助として申請しておりました(独)日本学術振興会 二国間交流事業(セミナー)も採択され、日本側の準備も順調な状況です。以下のホームページに最新情報が掲載されていますのでご覧ください。

ホームページ: <https://dechema.de/mmpe2022.html>

ファーストサーキュラーは、下記のリンクから閲覧できます。

[https://dechema.de/Veranstaltungen/2022/MMP+E+2022\\_+25\\_+28\\_09\\_2022\\_+Berlin/Call+for+Papers/\\_/Call%20for%20Papers\\_MMPE\\_2022\\_fin.al.pdf](https://dechema.de/Veranstaltungen/2022/MMP+E+2022_+25_+28_09_2022_+Berlin/Call+for+Papers/_/Call%20for%20Papers_MMPE_2022_fin.al.pdf)

申込みのスケジュールは下記の通りです。なお、参加登録は4/1(金)から可能となります。

25 March 2022 : Deadline Abstract submission

06 May 2022 : Notification of abstract acceptance

24 June 2022 : Deadline of full-length manuscripts submission

24 June 2022 : Deadline Early Bird registration

31 July 2022 : Deadline for "Hotel Reservation"

14 September 2022 : Deadline for receipt of the power point data for 5 min introduction of posters

コロナウイルス感染症の問題は、未だに予断を許さない状況

が続いていますが、感染症が早期に収束し、多数の参加をもってMMPEが無事に開催されますことを切に願っております。

(徳島大学 太田光浩)

## 本分科会関連行事等

本分科会に関連する以下のような学会・イベント情報があります。ご興味のある方は積極的にご参加ください。

- 15th World Congress on Computational Mechanics & 8th Asian Pacific Congress on Computational Mechanics (WCCM-APCOM) 2022, 2022年7月31～8月5日, パシフィック横浜  
<https://www.wccm2022.org/>
- 日本混相流学会 混相流シンポジウム 2022, 2022年8月19～22日, 関西大学千里山キャンパス  
<http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2022/>
- The 4th International Symposium on Multiscale Multiphase Process Engineering (MMPE), 2022年9月25～28日, ドイツ, ヘルリン市  
<https://dechema.de/mmpe2022.html>
- 26th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences (MicroTAS 2022), 2022年10月23～27日, Hangzhou, China  
<https://microtas2022.org/>
- 11th International Conference on Multiphase Flow (ICMF 2023), 2023年4月2～7日, 神戸国際会議場

(副代表 山田真澄)

## 入会のお勧めとご意見募集

本分科会ではこれまでに引き続き、本分野及び分科会の活動に関心をおもちの方々の入会を募集しております。化学工学会の正会員または学生会員であれば会費は無料です。お知り合いの方などにお声がけいただけますと幸いです。入会の詳細につきましては下記 HP をご覧ください。

<http://www.applc.keio.ac.jp/~terasaka/BUDROP/E/>

(代表 酒井幹夫, 副代表 山田真澄)